



かがやく浜の子

令和8年度5月号①

令和8年度 重点目標 「自分から チャレンジ」

【文責 校長】

「あ・さ・し・お・ご・は・ん」

もうすぐGWの4月最終週の朝。令和8年度がスタートして3週間が過ぎ、そろそろ疲れもたまってくるかなという時期。いつものように元気に登校してくる子供たちが、いつものように気持ちいい「おはようございます」のあいさつをして昇降口に向かっていきました。

この光景は、当たり前のように繰り返されていますが、決して当たり前のことではありません。「今日も学校で頑張ろう！」と自分を鼓舞する子供たちのやる気と、子供たちを元気に送り出してくださる家庭の温かさ、そして、子供たちに脈々と受け継がれてきた「あ・さ・し・お・ご・は・ん」が織りなした姿なのだと思います。



「あ・さ・し・お・ご・は・ん」は、平成5年に道徳教育推進のための合言葉として生まれ、その後も思いやりを育む大切な言葉として継承されています。平成10年に校舎に看板が設置され、平成29年には改修とともに増設されました。つまり、子供たちのお父さん、お母さんが子供の頃から、ずっと大事にされてきたものになります。



あ…「ありがとう！」

さ…「さようなら！」

し…「しつれいします！」

お…「おはよう！」

ご…「ごめんなさい！」

は…「はい！」の返事

ん…「さん」で名前を呼ぼう

あいさつの合言葉ですが、あいさつだけでなく、あいさつをとおして、得られるものはたくさんあります。

コミュニケーション力、相手を受け入れる温かさや思いやり、相手を大事にする心や態度、規範意識、ルールやマナーなど。

これらが根付いているのは、これまで「あさしおごはん」を大切にしてくださった白小卒業生や地域の方のおかげです。

これからも大事にしていきます。

東門付近では、毎朝、「あさしおごはん委員会」があいさつ活動をしています。「あさしおごはん委員会」は、あいさつをとおして、「楽しい学校づくり」にチャレンジしています。もちろん、その他の委員会でも、それぞれの役割をとおして、「楽しい学校づくり」にチャレンジしています。

「あさしおごはん」によって築かれた思いやりや温かさを背景に、子供たちと職員と保護者と地域、みんなでつくる「楽しい学校づくり」は、日々続いていきます。引き続き学校教育活動へのご理解とご協力をお願いします。